

信濃学園分室について

地域化プランを推進しています。

- 通学生を受け入れています。平成29年度からは障がいの限定枠を外した受け入れをしています。
- 平成20年より取り組んだ分室プラン（自閉症スペクトラムに特化した教育課程）は、他の障がい種の児童にもわかりやすいものになっています。
- 保護者の方や地域のニーズに応え、一人一人に応じた教育を行うために、個別学習や小集団での学習を大切に、わかりやすい環境づくりや支援を行っています。

学習の充実を図っています。

- NCプログラムなどでアセスメントを行い、学習内容や支援に生かしています。
- 個別学習では、認知力の向上や教科学習（言葉・数）、自立活動、日常生活につながる内容等を取り入れています。
- 生活単元学習を学習の柱に位置付け、子どもたちの興味・関心を基に内容を決めだしたり、季節や行事に合わせたテーマにしたりしています。ある程度の期間思う存分活動することによって、子どもたちの自発的・主体的な姿を目指しています。

1 教育目標

児童一人一人が、特性や教育的ニーズに応じた生活や学習を行うことによって、興味・関心の幅を広げ、豊かに生きる力を伸ばす。

2 日課表

週日課

	月	火	水	木	金
9:00	登校				
9:35	日常生活の指導(營養等)				
9:55	朝の会				
10:30	個別学習				
10:50	学級の時間	生活単元学習/課題学習			音楽
11:35	移動 準備 食事 宿題				
12:40	自由遊び				
13:10	からだの時間				学級の時間
13:45	清掃				
14:05	日常生活の指導(營養等)				
14:30	帰りの会				
14:45	下校				
15:00					

一日の見通し 朝の会
振り返りと明日の見通し
帰りの会
(毎日15分)

脳が目覚める時間帯に
じっくり個別学習
(毎日35分)

部全体で取り組む
生活単元学習/課題学習
(火~木 45分)

午後からはからだをたっぷり動かす
からだの時間
(月~木 35分)

3 基本方針

- (1) 認知やことば・かずの基礎的な力を培うことに重点をおいた個別学習や、児童の興味・関心をもとに見通しや意欲・社会性等を育むことを目指した遊び・生活単元学習を学習の中核にすえ、相互の有機的な関連を図りながら構造的な教育課程の運用を進めています。
- (2) 児童の実態や学習内容に合わせて学習形態を工夫し、わかりやすい場面設定・教材の提示に配慮しながらねらいや課題の達成を目指します。
- (3) 基本的な生活習慣の習得を図り、自立に向けた生活を送ることができるように、個々の児童の実態に合わせてきめ細かな指導を継続しています。
- (4) 豊かな人間関係を築きながら生活体験を広げられるように、家庭的な温かな環境づくりを心がけています。

4 教育課程について

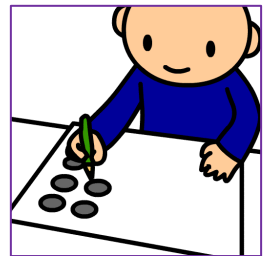
〈朝の会・帰りの会〉

○学級ごとに一日の予定を確かめて、目当てや見通し・期待をもって主体的に生活することを目指します。帰りの会では、一日を振り返りお互いの頑張りを認め合います。

〈個別学習〉

○認知やことば・かず、自立活動を中心とした個別の学習を継続的に行い、理解を深めます。

- ・NCプログラムやその他のアセスメントを利用しながら一人一人の実態を把握して課題を設定し、系統的・継続的な指導を心がけています。
- ・パーテーションや棚等を活用して視覚刺激を減らし、児童が集中して学習に取り組めるようにしています。また、教材や各種自立課題の開発に努め、有効活用できるように心がけています。
- ・一人一人の実態に応じて、ビジョントレーニングや言葉の学習、SST、感覚統合のグループを編成して学習を行っています。ビジョントレーニングは毎日、他は週に1回ずつ、学習する機会を設定しています。小集団の中で、お互いに学び合ったり、新たなことを体験したりできるように、学習の進め方や内容、教材等を工夫しています。



〈生活単元学習〉

○児童の興味・関心を大切に活動に取り組み、見通しを持って意欲的に取り組もうとする態度を育てます。また、友だちや教師とのかかわりを大切にしながら社会性の伸長を図ります。

- ・畑の活動、行事、校外学習、遊び等を取り入れながら、児童の興味関心をもとにテーマを設定して取り組みます、その際、個別学習や課題学習との関連にも考慮して学習内容を検討します。



〈課題学習〉

○一人一人の課題をもとに共通課題を設定し、分室全体やグループでの学習を通して認知やことば・かず等の力の伸長を図ります。また、集団活動を通してコミュニケーション力や社会性を育むことも目指します。

- ・NCプログラム等を活用して一人一人の課題から共通課題を決めだし、個別学習で培った力が集団学習の中で発揮できるように単元構成や指導内容を工夫しています。
- ・個々のねらいを明確にして、集団学習の中でも個に合った指導や教材を工夫しています。

〈からだの時間〉

○歩く・走る・跳ぶことを基本に、リズム歩行・リズム運動・サーキット・水泳・ボール運動・なわとび等の運動に取り組み、集団の中で模倣しながら活動することにより、運動能力・体力の向上を図ります。

- ・個々の運動面の能力の実態をもとに指導内容を検討し、遊びやゲームの要素を取り入れながら児童が見通しをもって楽しく活動できるように工夫しています。



〈音楽〉

○聴く（見る）・歌う・演奏する・表現する活動を通して、音楽への興味・関心を高め、全体で音楽を楽しみながら豊かな感性や音楽性を育むことを目指します。

- ・月ごとのテーマにそって選曲を工夫し、児童が楽しみながら五感を存分に使って音楽活動に参加できるようにします。

〈学級の時間〉

○学級の友だちや先生とかかわり合いながら活動することを通して、学級の一員としての自覚がもてるようになることを目指します。低学年や高学年のように、グループでまとまって活動することもあります。

- ・児童の実態に合わせて、校外歩行（散歩）・図工・調理・誕生会・性教育等に取り組み、学級のまとまりをつくりあげています。

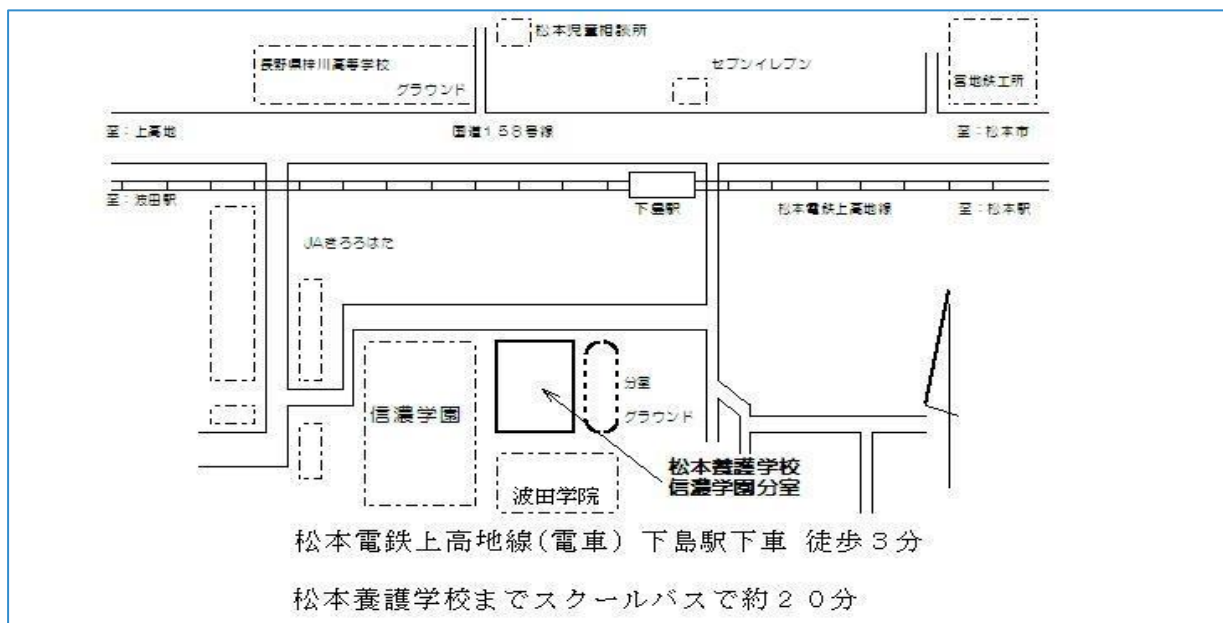
5 主な行事

1 学期	2 学期	3 学期
進級お祝い会 春の遠足 鑑賞音楽会 宿泊学習（4・5年） 修学旅行（6年）	校外学習 本校との交流会 のびろ祭 クリスマス会	三九郎 大野川小学校との交流会 6年生を送る会

6 配慮していること

- (1) 一人一人の実態を把握するために的確なアセスメントを行い、それをもとに「個別の指導計画」を作成して、日々の授業づくりに生かしています。また、記録を累積しながら授業のあり方を見返し、授業改善を進めています。
- (2) 児童の実態や学習内容に応じて、個別的な学習とグループや集団での学習を組み合わせ、全体・個のねらいを明確にしながら単元・授業を展開しています。
- (3) 学習環境の空間的・時間的な整備を行い、個のニーズに応じてわかりやすい環境づくりを心がけ、学習に集中できるようにするとともに、安定した生活が送れるように配慮しています。
- (4) 個や集団に応じた創造的な教材・教具の開発に努め、共有化を進めています。
- (5) 児童の実態に合わせてコミュニケーション指導のあり方を検討し、AAC手段（補助代替コミュニケーション）等の有効活用を進めています。

〈地図〉



分室の所在地 〒390-1401 松本市波田4417-5

TEL・FAX 0263-92-3000